

授業概要

社会調査に関して、テーマの設定、仮説構成、質問項目の作成から、実際のデータ収集、データ整理、解析、報告書の作成まですべてのプロセスについて量的調査を中心とし、社会調査の一連のプロセスについて理解を深める。構成としては、調査を実施するまで、そして実施した後のデータ処理の 2 段階となる。講義が中心ではあるが、調査の一連のプロセスを理解してもらうため、データ処理に関しては実際にデータの解析を授業中に実施する。

授業計画

第 1 回	調査目的と調査方法（全数調査と標本調査、量的調査と質的調査）
第 2 回	調査方法の決め方
第 3 回	調査テーマの決定法（仮説構成の方法）
第 4 回	サンプリング（サンプリング法、標本数と誤差の問題）
第 5 回	調査の実施方法Ⅰ（さまざまな実施方法）
第 6 回	調査票の作成法Ⅰ（質問項目の作り方）
第 7 回	調査票の作成法Ⅱ（性格検査や態度検査を組み込む場合）
第 8 回	調査の実施方法Ⅱ（具体的な実施方法の手順、調査票の配布・回収）
第 9 回	調査データの整理（エディティング、コーディング）
第 10 回	データの集計とデータクリーニング（単純集計、クロス集計など）
第 11 回	データの分析法（相関、偏相関）
第 12 回	多変量解析（因子分析、重回帰分析）
第 13 回	調査結果の表現（グラフ表現とその問題）
第 14 回	論文（報告書）の作成法
第 15 回	総まとめ
第 16 回	レポートの提出

到達目標

調査の方法論を確実に理解してもらう。心理系の専門ゼミでの調査、社会調査実習、卒論において応用が可能になる実力を身につける。

履修上の注意

積極的な意見、質問を歓迎する。ただし、私語は厳禁。

予習・復習

資料とテキストを付け合わせて確認し、復習をしてもらいたい。

評価方法

授業の参加性（80%）とレポート結果（20%）をもとに評価する。

テキスト

毎回、A4 の資料 2 枚程度を授業テキストとして配布する。
復習がしっかりできるように授業テキストは構成する。